

# 民話の深層心理に基づく地域都市の回遊ルート設計

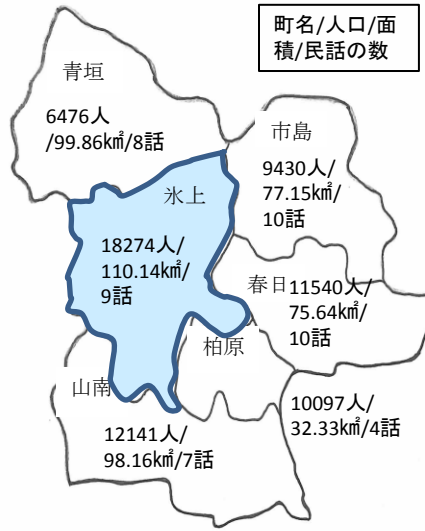
関西大学 木村俊之・長谷川陽平・藤井勇樹・矢野裕・新林春樹

## 研究背景

地域の個人的な歴史文化を生かしたまちづくりのためには、地域アイデンティティ形成のための精神風土の体感的理解が必要である。

## 研究目的

地域で生まれた物語の精神性を理解して、歴史的地物との関係から地域の個人的精神風土を感じる回遊ルートを提案する。最終的には、個人的な地域の魅力を創生する資源となりうる。

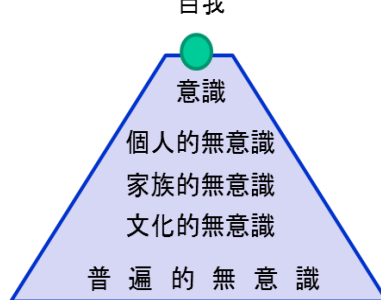


## 独鈷の滝

氷上の村の滝の下に恐ろしい大蛇がいました。ある夜、夢で住吉大明神のお告げを聞いた弘法大師が丹波へやって来られ、三日三晩お経を唱え、四日目の朝に独鈷を投げました。すると大蛇はみるみるうちに小さくなり滝つぼの中に消えていきました。その後、弘法大師は嵯峨天皇に頼んで岩龍寺を建て、お礼に石不動の像を刻み、ほこらの中へまつられました。また、小さくなった蛇の頭は、お寺の下に池を掘って埋め、そのわきにお堂を建てたそうです。

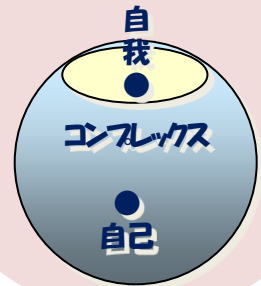


## 地域のアイデンティティ



## ユングの深層心理学

無意識層の意識化は自己実現につながる。自己実現→アイデンティティの形成



## 氷上町の特徴

2004年6町は合併し、現在の丹波市になった。氷上町は人口、面積が共に最大で、丹波市役所、商工会議所、中央図書館、私立美術館などがある。県道沿いには大型ショッピングセンターなどが立ち並び、商業の中心地であり、丹波市で最もにぎやかな地域であるといえる

## 「独鈷の滝」の分析結果

大蛇→グレートマザー、死と再生  
弘法大使→老賢者  
村人にとって大蛇は乗り越えなければならない存在。弘法大使が退治し、滝に近づくことができるようになるが、自然の恩恵を忘れないために大蛇を祀り、滝を大切なものとして信仰している。

## 民話の分析論

地域の深層心理は地物・物語などに内包される。物語の主題と元型で基本構造が表現できる。

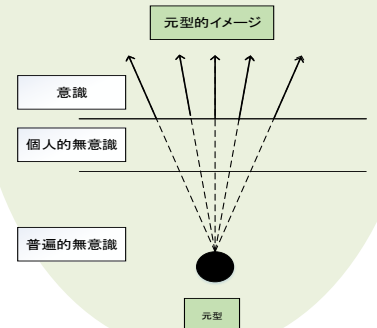
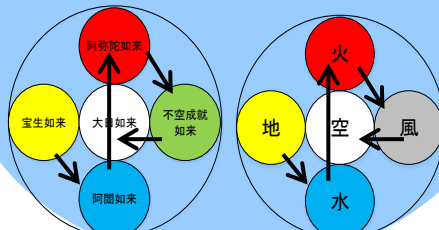
## 都市の深層心理 (精神風土)

## 都市の自己実現の過程

## 都市のアイデンティティの確立

## マンダラシステム

行者の体験的な宇宙感を示したもの。宇宙と個人の一体化が目的



# 地域の個性的精神風土を感じるルート

①禅勝寺のお地藏さん(地)  
元型: いぼとり地藏→神  
主題: 信仰、諦めない心



③甲賀山と犬岡山(火)  
元型: 鬼→神、トリックスター  
主題: 自然の脅威



自己実現  
都市のアイデンティティ



⑤独鈷の滝(空)  
キーワード  
元型: 大蛇→グレートマザー  
主題: 宗教



START

GOAL

④氷上刀売(風)  
元型: 刀売→グレートマザー  
主題: 平和に生きる



②大阪の蛙と丹後の蛙(水)  
元型: かえる→グレートマザー  
主題: 自然の豊かさ



## 回遊ルート

- ①禅昌寺(禅勝寺のお地藏さん)
- ↓ 【地→水】
- ②水分れ公園(大阪のかえると丹後のかえる)
- ↓ 【水→火】
- ③甲賀山,犬岡山(甲賀山と犬岡山)
- ↓ 【火→風】
- ④田んぼ(氷上刀売)
- ↓ 【風→空】
- ⑤岩龍寺(独鈷の滝)

出典: 丹波市観光協会氷上支部